



TBS

2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月8日

上場会社名 株式会社TBSホールディングス 上場取引所 東
コード番号 9401 URL <https://www.tbsholdings.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐々木 卓
問合せ先責任者 (役職名) アカウンティングサービス局長 (氏名) 小杉 尚 TEL 03-3746-1111
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 ー
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	295,465	7.0	17,041	△15.6	28,742	△15.7	38,319	81.0
2023年3月期第3四半期	276,146	2.5	20,194	△12.9	34,101	2.1	21,166	△0.9

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 176,873百万円 (ー%) 2023年3月期第3四半期 △107,813百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	232.56	—
2023年3月期第3四半期	125.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	1,288,272	953,334	73.1
2023年3月期	1,067,865	796,184	73.1

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 941,571百万円 2023年3月期 780,667百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	20.00	—	22.00	42.00
2024年3月期	—	22.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	22.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	390,700	6.1	15,000	△27.8	26,800	△23.6	36,200	2.9	220.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	168,591,065株	2023年3月期	171,591,065株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	5,175,782株	2023年3月期	6,435,939株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	164,772,893株	2023年3月期3Q	168,884,050株

(注) 期末自己株式数には、株式付与ESOP信託が所有する当社株式（2024年3月期3Q 3,442,648株、2023年3月期 3,185,000株）及び役員向け株式交付信託が所有する当社株式（2024年3月期3Q 62,500株、2023年3月期 -）が含まれております。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に、株式付与ESOP信託が所有する当社株式（2024年3月期3Q 3,446,956株、2023年3月期3Q -）及び役員向け株式交付信託が所有する当社株式（2024年3月期3Q 37,273株、2023年3月期3Q -）を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	9
(株)TBSテレビ第3四半期事業収入の内訳	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年12月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類へ引き下げられ、行動制限の緩和が進んだこと等により、個人消費を中心に景気は持ち直しの動きが見られました。一方で、原材料価格の高騰による物価上昇や為替変動に加え、世界的な金融引き締めによる景気への影響に注意が必要な状況で推移しました。

テレビ広告市況のスポット広告費における関東地区投下量は推計で前年同期比92.8%となりました。

このような状況の下、当第3四半期連結累計期間における当社グループの連結売上高は、テレビの広告収入で減収となったものの、配信事業の伸長に加え、やる気スイッチグループの新規連結により、2,954億6千5百万円(前年同期比7.0%増)となりました。

売上原価と販売費及び一般管理費を合わせた営業費用は、番組制作費の増加や、やる気スイッチグループの新規連結により、2,784億2千4百万円(前年同期比8.8%増)となりました。

この結果、営業利益は170億4千1百万円(前年同期比15.6%減)となりました。経常利益は287億4千2百万円(同15.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は投資有価証券売却益の増加等により383億1千9百万円(同81.0%増)となりました。

◇メディア・コンテンツ事業セグメント

メディア・コンテンツ事業セグメントの当第3四半期連結累計期間の売上高は2,175億7千6百万円(前年同期比1.9%増)、営業利益は、72億9千4百万円(同37.1%減)となりました。

(株)TBSテレビのテレビ部門の当第3四半期連結累計期間の売上高につきましては、放送収入の減収を配信がカバーし、54億5千6百万円増収の1,501億9千3百万円(前年同期比3.8%増)となりました。このうち、タイム収入は「世界陸上2023 ブダペスト」や「アジア大会 中国・杭州」などの大型スポーツ単発や、年末特別番組のセールスが貢献し、620億5千4百万円(同2.6%増)となりました。スポット収入は、関東地区投下量が前年を大幅に下回る大変厳しい市況により、572億1千1百万円(同8.5%減)となりました。一方、配信広告収入は、TVerを中心とした国内の無料動画配信が引き続き好調で、57億6千9百万円(同44.9%増)となりました。また、有料配信収入は「風雲!たけし城」や「離婚しようよ」等の海外配信収入が計上されたことで、96億7千5百万円(同48.7%増)となりました。その他収入は、メディア事業が事業部門から移管したこと等により、154億8千1百万円(同37.5%増)となりました。

(株)TBSテレビの事業部門の当第3四半期連結累計期間の売上高は、52億9千6百万円減収の165億2百万円(前年同期比24.3%減)となりました。映画は劇場版「TOKYO MER～走る緊急救命室～」や映画「わたしの幸せな結婚」、「ラーゲリより愛をこめて」等のヒット作に恵まれ増収となりました。ライブエンタテインメントでは、TBS開局70周年記念 舞台「ハリー・ポッターと呪いの子」のロングラン上演や、Kバレエ「眠れる森の美女」が好調でしたが、前年のサッカー「パリ・サン＝ジェルマン ジャパンツアー2022」の反動を埋めるには至らず減収、アニメは前年大ヒットした映画「五等分の花嫁」の反動により減収となりました。加えて、第2四半期連結累計期間よりメディア事業がテレビ部門へ移管したため、部門全体で減収となりました。

(株)TBSラジオは、イベント収入は増収となったものの、広告収入がタイム・スポットともに減収となり、3億2千2百万円減収の59億6千8百万円(前年同期比5.1%減)となりました。

(株)BS-TBSは、放送収入ではタイムセールスで苦戦したものの、スポット収入およびショッピングが好調で増収となりました。一方、事業収入が減収となり、4千4百万円減収の128億6千4百万円(前年同期比0.3%減)となりました。

(株)TBSグロウディアは、DVD収入の増加等により、26億1千8百万円増収の227億1千4百万円(前年同期比13.0%増)となりました。

(株)日音は、業務代行収入や邦楽・洋楽収入の増加等により、6億7千9百万円増収の69億4百万円(前年同期比10.9%増)となりました。

TCエンタテインメント(株)は、DVD販売の増加により、22億9千1百万円増収の76億3千5百万円(前年同期比42.9%増)となりました。

費用面においては、番組制作費が増加したことに加え、配信コンテンツ収入に連動して費用が増加しました。この結果、同セグメントにおける営業利益は42億9千3百万円減益となる72億9千4百万円(前年同期比37.1%減)となりました。

◇ライフスタイル事業セグメント

ライフスタイル事業セグメントの当第3四半期連結累計期間の売上高は、654億3千1百万円（前年同期比30.1%増）、営業利益は39億1千3百万円（同19.0%増）の増収増益となりました。

スタイリングライフグループでは、中核の雑貨小売販売事業の「プラザスタイルカンパニー」は、原価率の上昇や店舗運営のコストが増加したものの、化粧品、雑貨等が伸長したことにより、増収増益となりました。

通信販売事業の(株)ライトアップショッピングクラブは、受注の減少により、減収減益となりました。

ビューティ&ウェルネス事業は、(株)CPコスメティクスが苦戦したものの、化粧品の開発・製造・販売を行っている「BCLカンパニー」の国内・海外販売が引き続き好調で増収増益となりました。この結果、スタイリングライフグループ全体で増収増益となりました。

やる気スイッチグループは、個別指導塾事業及び幼児教育事業を展開しており、新規連結により売上高、営業利益ともに増加となりました。

◇不動産・その他事業セグメント

不動産・その他事業セグメントの当第3四半期連結累計期間の売上高は124億5千7百万円（前年同期比0.8%増）、営業利益58億3千万円（同9.8%増）となりました。

賃料収入の増加等により増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は1兆2,882億7千2百万円で、前連結会計年度末に比べて2,204億6百万円の増加となりました。保有する株式の含み益の増加等により投資有価証券が2,276億2千1百万円増加したこと等によります。

(負債)

負債合計は3,349億3千7百万円で、前連結会計年度末に比べて632億5千6百万円の増加となりました。保有する株式の含み益の増加等に伴い繰延税金負債が711億2千9百万円増加したこと等によります。

(純資産)

純資産合計は9,533億3千4百万円で、前連結会計年度末に比べて1,571億5千万円の増加となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益の計上や配当金の支払い等により利益剰余金が差し引き309億7百万円増加、その他有価証券評価差額金が1,374億1千6百万円増加したこと等によります。

この結果、自己資本比率は73.1%、1株当たりの純資産は5,761円84銭となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期連結業績予想につきましては、2023年11月10日の「2024年3月期 第2四半期決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	97,649	40,330
受取手形、売掛金及び契約資産	66,422	78,509
有価証券	—	20
商品及び製品	8,937	10,023
番組及び仕掛品	10,621	9,460
原材料及び貯蔵品	798	715
前払費用	10,971	13,885
その他	13,759	6,976
貸倒引当金	△102	△120
流動資産合計	209,058	159,801
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	216,455	220,958
減価償却累計額	△133,067	△137,304
建物及び構築物（純額）	83,388	83,653
機械装置及び運搬具	77,546	75,074
減価償却累計額	△69,368	△67,842
機械装置及び運搬具（純額）	8,178	7,231
工具、器具及び備品	18,552	19,870
減価償却累計額	△16,033	△16,731
工具、器具及び備品（純額）	2,518	3,138
土地	163,680	165,807
リース資産	1,883	2,044
減価償却累計額	△1,687	△1,871
リース資産（純額）	196	173
建設仮勘定	2,385	3,044
有形固定資産合計	260,348	263,048
無形固定資産		
ソフトウェア	6,354	7,082
のれん	7,815	23,513
その他	727	23,524
無形固定資産合計	14,897	54,120
投資その他の資産		
投資有価証券	572,436	800,058
長期貸付金	127	123
繰延税金資産	2,603	2,085
長期前払費用	186	263
その他	8,358	8,939
貸倒引当金	△152	△168
投資その他の資産合計	583,560	811,301
固定資産合計	858,807	1,128,470
資産合計	1,067,865	1,288,272

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	42,411	46,875
1年内返済予定の長期借入金	20,000	400
未払金	11,947	13,610
未払法人税等	8,449	8,510
未払消費税等	1,013	2,151
未払費用	2,333	2,168
賞与引当金	4,286	1,900
役員賞与引当金	21	9
固定資産撤去費用引当金	—	41
その他	13,595	11,862
流動負債合計	104,059	87,529
固定負債		
長期借入金	—	3,483
退職給付に係る負債	15,305	15,379
株式給付引当金	—	3,444
リース債務	208	209
繰延税金負債	136,999	208,129
その他	15,107	16,762
固定負債合計	167,621	247,408
負債合計	271,681	334,937
純資産の部		
株主資本		
資本金	54,986	54,986
資本剰余金	42,547	34,257
利益剰余金	385,868	416,775
自己株式	△11,354	△10,511
株主資本合計	472,047	495,508
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	308,393	445,809
繰延ヘッジ損益	10	0
為替換算調整勘定	168	236
退職給付に係る調整累計額	47	18
その他の包括利益累計額合計	308,619	446,063
非支配株主持分	15,517	11,762
純資産合計	796,184	953,334
負債純資産合計	1,067,865	1,288,272

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	276,146	295,465
売上原価	185,767	201,964
売上総利益	90,378	93,501
販売費及び一般管理費	70,184	76,460
営業利益	20,194	17,041
営業外収益		
受取利息	8	10
受取配当金	13,983	11,675
持分法による投資利益	142	522
その他	437	275
営業外収益合計	14,571	12,484
営業外費用		
支払利息	59	26
控除対象外消費税等	89	196
固定資産除却損	146	109
投資事業組合運用損	32	90
その他	336	359
営業外費用合計	664	783
経常利益	34,101	28,742
特別利益		
投資有価証券売却益	550	34,480
特別利益合計	550	34,480
特別損失		
退職給付費用	—	3,257
組織再編関連費用	—	859
固定資産撤去費	—	291
事業構造改善費用	104	136
投資有価証券評価損	22	14
投資有価証券売却損	536	—
減損損失	8	—
特別損失合計	672	4,559
税金等調整前四半期純利益	33,979	58,662
法人税、住民税及び事業税	9,752	18,559
法人税等調整額	1,899	673
法人税等合計	11,651	19,232
四半期純利益	22,327	39,429
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,161	1,110
親会社株主に帰属する四半期純利益	21,166	38,319

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	22,327	39,429
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△130,163	137,345
為替換算調整勘定	82	68
退職給付に係る調整額	△41	△30
持分法適用会社に対する持分相当額	△18	60
その他の包括利益合計	△130,140	137,443
四半期包括利益	△107,813	176,873
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△108,968	175,764
非支配株主に係る四半期包括利益	1,154	1,109

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	メディア・ コンテンツ事業	ライフ スタイル事業	不動産・ その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	213,507	50,279	12,360	276,146	—	276,146
セグメント間の内部売上 高又は振替高	446	5	3,923	4,374	△4,374	—
計	213,953	50,284	16,283	280,521	△4,374	276,146
セグメント利益	11,588	3,290	5,307	20,186	8	20,194

(注) 1. セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	メディア・ コンテンツ事業	ライフ スタイル事業	不動産・ その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	217,576	65,431	12,457	295,465	—	295,465
セグメント間の内部売上 高又は振替高	367	12	2,703	3,083	△3,083	—
計	217,943	65,444	15,161	298,549	△3,083	295,465
セグメント利益	7,294	3,913	5,830	17,038	3	17,041

(注) 1. セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 補足情報

(株)TBSテレビ事業収入の内訳 (第3四半期)

(単位: 百万円)

区分	前第3四半期 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	比較		前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
	金額	金額	金額	伸率	金額
テレビ	144,737	150,193	5,456	3.8	193,292
タイム	60,473	62,054	1,581	2.6	79,916
スポット	62,518	57,211	△5,306	△8.5	82,969
配信広告	3,982	5,769	1,787	44.9	5,668
有料配信	6,506	9,675	3,169	48.7	8,900
その他	11,257	15,481	4,223	37.5	15,837
事業	21,799	16,502	△5,296	△24.3	27,817
不動産	2,265	1,778	△486	△21.5	2,980
合計	168,801	168,474	△327	△0.2	224,089

- (注) 1. 前第3四半期及び前事業年度においてその他区分で開示していた収入のうち、当第3四半期においては有料配信を別掲したうえで、有料配信以外をその他区分で集計しております。
 なお、前第3四半期及び前事業年度について、当該変更による組替を行ったうえで開示しております。
2. 前第3四半期及び前事業年度において事業部門に含まれていたメディア事業にかかる収入の一部について、第2四半期よりテレビ部門のその他区分で集計しております。
 なお、前第3四半期及び前事業年度について、当該変更による組替を行っておりません。